

「多摩センター駅周辺地区都市再生整備計画事後評価原案」のパブリックコメント

【はじめに】

多摩センター駅周辺地区都市再生整備計画は都市計画マスタープランに位置付けられた広域拠点である多摩センターにふさわしい、魅力と賑わいあふれる街づくりを実現する為平成29年3月に策定しました。

都市再生整備計画に位置付けた基幹事業（都市再生整備計画事業）として、ストリートファニチャー（ベンチ）やサインの整備事業、道路占用許可制度の特例を活用したオープンカフェ事業等を実施してきました。

また、計画区域内の都市計画施設や公共施設のリニューアル整備等を関連事業として位置付けており、各種事業が実施中です。

都市再生整備計画の計画期間は5年間で、計画期間の最終年度には、基幹事業に関して法定の事後評価を行うことが規定されております。

この度、事後評価の原案（事後評価シート）を作成しましたので、広くその原案を公表し、市民の意見を募るとともに、それらの意見を事後評価に反映させることを目的としてパブリックコメントを実施します。

作成した事後評価原案（事後評価シート）では、各種事業の実施による街の課題の変化と今後の街づくりの方策を記載していますので、ご意見の程よろしくをお願いします。

【都市再生整備計画事業（社会資本整備総合交付金）とは】

市町村等が行う地域の歴史・文化・自然環境等の特性を生かした個性あふれるまちづくりを総合的に支援し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的とする事業です。

※都市再生特別措置法第46条第1項に基づき、市町村が都市再生整備計画を作成し、都市再生整備計画に基づき実施される事業等について事業費の一部に国から社会資本整備総合交付金が交付されます。

【多摩センター駅周辺地区都市再生整備計画の概要】

◆都市再生整備計画の目標

コンパクトな都市構造への再編を目指す多摩ニュータウンの広域拠点・駅拠点にふさわしい魅力と賑わいあふれる街づくり

◆都市再生整備計画区域

多摩センター駅周辺商業地域及び第二種住居地域の約63ha

◆都市再生整備計画期間

平成29年度～令和3年度

◆基幹事業（都市再生整備計画事業）の実施概要

地域生活基盤施設

○案内板・サインの設置（H30～R2年度実施）

来訪者の誰もがわかりやすい空間の整備のため多言語のサインを整備しました。

高質空間形成施設

○ストリートファニチャー（緑化施設）等の設置（H29～R1年度実施）

オープンカフェと併せ高質な滞留空間を創設し地区の魅力を向上させました。

○エスカレーター(歩行支援施設)の基本調査 (H29 年度実施)

回遊性と移動の連続性強化の為、バスロータリーからペDESTリアンデッキにかかる階段へのエスカレーター設置についての基本調査を行いました。

※設置場所の構造的な課題や、民間で設置された屋外エスカレーターによる歩行動線の変化も踏まえ、都市計画施設でもあるバスロータリーの都市計画変更も見据えて、歩行支援施設の設置を再検証することとし、整備自体は延期しました。

道路占用許可の特例活用

○オープンカフェ事業 (H29～R3 年度実施)

都市再生整備計画を策定することにより活用出来る道路占用許可の特例を使いオープンカフェを設置し、街の賑わいを創出しました。

事業活用調査

○事後評価調査事業 (R3 年度実施中)

都市再生整備計画によって得られた成果やその実施過程、成果の要因などを客観的に評価・分析し、今後のまちづくりのあり方を検討します。

◆関連事業の概要

関連事業は都市再生整備計画事業ではないものの、計画区域内で同時期に実施される事業で、街づくりの目標に対し、相乗的な効果が期待できるとして位置付けた事業です。各種の関連事業については整備に向けた工事等が進捗中です。

整備内容については、多摩市公式 HP をご参照ください。

○パルテノン多摩 <https://www.city.tama.lg.jp/0000002583.html>

○多摩中央公園 <https://www.city.tama.lg.jp/0000007395.html>

○中央図書館 <https://www.city.tama.lg.jp/0000013139.html>

○遊歩道 (レンガ坂) <https://www.city.tama.lg.jp/0000014118.html>

【事後評価原案(事後評価シート)における今後のまちづくりの方策について】

『回遊性のあるまちなみの形成』

「パルテノン大通り」を中心に賑わい環境を創出することにより、近隣施設を巻き込んだ回遊性のある賑わい環境の創出を図る。

『駅周辺施設の改修』

関連事業に挙げられている、駅周辺施設の整備を推進していくことで、商業施設との相乗効果を発揮し、人の流れを生み出す。

『移動環境の充実』

関連事業に挙げられている、ペDESTリアンデッキやバスロータリーの改修検討に併せ、歩行支援施設を整備するなど、誰もが移動しやすい環境の形成を図る。また、駅周辺の施設へのアクセスの際に、雨などにぬれずに移動ができるよう、屋根等の整備の必要性を検討する。